

地域密着型サービス評価の自己評価票

(部分は外部評価との共通評価項目です)

↑ 取り組んでいきたい項目

| 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (印) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|-------------------|--|-------|---|
| . 理念に基づく運営 | | | |
| 1. 理念と共有 | | | |
| 1 | 地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている | | ユニット理念としては「個性を愛し、笑顔で生きる」を掲げ、毎日のケアの中で意識し、取り組んでいる |
| 2 | 理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる | | |
| 3 | 家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる | | |
| 2. 地域との支えあい | | | |
| 4 | 隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている | | |
| 5 | 地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている | | |

| 項目 | | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (印) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|-----------------------|--|--|-----|---|
| 6 | 事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる | ポスティングを行い、地域の方々にそよ風を知って頂き、又、年に一回感謝祭等を開催し、足を運び易くしている | | |
| 3. 理念を実践するための制度の理解と活用 | | | | |
| 7 | 評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる | 外部からの評価を受け、指摘して頂くことが事業所を発展させる物であることを全職員が理解している。ミーティングで報告、改善点については話し合い、改善できるよう取り組んでいる | | |
| 8 | 運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている | 運営推進会議で出された意見については、真摯に受け止め、すぐに改善策を話し合い実行。常に反映できるよう取り組んでいる | | |
| 9 | 市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる | 運営推進会議の議事録を持参し、交流の場を持つようにしている。又、月に一度介護相談員が 来所してくれている | | |
| 10 | 権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している | 利用者で成年後見制度を利用している方がいるが、職員には理解されていない | | 成年後見制度については、ミーティングで取り入れ、全職員が理解できるようにしたい |
| 11 | 虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている | 月に一度のブロック会議では、様々な勉強会を開催。すでに虐待についても勉強会を開いており、全職員が意識の向上を図り防止に努めている | | |

| 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (印) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|----------------|--|--|--|
| 4.理念を实践するための体制 | | | |
| 12 | <p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p> | <p>十分な時間を取り、利用者や家族の不安や疑問点について説明。連携医療等 できるサービスや、できないことも明確に説明、納得して頂いている。又、入所されてからも随時疑問点については説明し、理解して頂いている</p> | |
| 13 | <p>運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p> | <p>顔なじみの介護相談員の方が毎月来所され、利用者の話や要望を聞いてくれており、それを職員に伝えてくれている。取り組み易い物については(食べたい物等)意向に添ってすぐに提供している。又、職員も日々の中で寄り添う時間を多く持つよう努力している</p> | <p>業務の見直しを図りながら、利用者中心の生活基盤を確立して行きたい</p> |
| 14 | <p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p> | <p>毎月の近況報告やグループ便りにて現在の様子、健康状態、センターの催し物等 お知らせしている。健康状態に変化があった場合は個々に速やかに報告している。お小遣いについても領収書、お小遣い帳をコピーし、毎月郵送している</p> | |
| 15 | <p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p> | <p>定期的開催している運営推進会議ではご家族が意見を出し易い雰囲気作りを行い、出された意見、要望は出来る限り、すぐに反映するようにしている。又、毎月送る近況報告には、毎月、苦情相談窓口の氏名を提示し、繰り返しどんなことでもご相談下さいと、お知らせしている</p> | |
| 16 | <p>運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p> | <p>日頃から職員の意見や提案には、耳を傾けているが、しっかりした機会を設けてはいない</p> | <p>定期的に面談を行い話し易い雰囲気作りに努めて行きたい</p> |
| 17 | <p>柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p> | <p>業務中心では無く、利用者中心の業務を心掛けているが、まだまだ利用者に寄り添う時間が少ないように思う</p> | <p>職員で良く話し合い、柔軟な勤務態勢や利用者中心の業務の調整に努めて行きたい</p> |
| 18 | <p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p> | <p>各ユニットの職員を固定化、利用者、家族との信頼関係を築くことを重点に置いている。又、離職者が出ないよう明るい職場作りに努めている</p> | |

| 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (印) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|---------------------------|---|---|--|
| 5. 人材の育成と支援 | | | |
| 19 | <p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p> | <p>資格を持たない人も業務の中で育成し、助成金制度を設けている。又、市やその他の研修にもどんどん応募し、個々の段階に応じた研修に参加する機会を設け、スキルアップを図っている</p> | |
| 20 | <p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p> | <p>市で開催する意見交換会に出席し、他の事業所と交流する機会を持ち、学んだことは全職員に研修報告として伝え、サービスの質の向上に役立っている</p> | <p>他の事業所とのネットワーク作りに取り組み、当施設の足りない部分、良い部分を明確にし、サービスに反映させたい</p> |
| 21 | <p>職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる</p> | <p>日頃気軽に声を掛け、コミュニケーションを図るよう努めているが、個々に面談の時間は少ない</p> | <p>面談の回数を増やしたり、気軽に悩みを話し合える場を設けて行きたい</p> |
| 22 | <p>向上心を持って働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるよう努めている</p> | <p>職員の資格取得に向けた支援を行っている。又、積極的に職能評価を行い向上心を持てるよう努めている</p> | |
| 安心と信頼に向けた関係づくりと支援 | | | |
| 1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応 | | | |
| 23 | <p>初期に築く本人との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p> | <p>事前面談では本人に良く話しを伺い、ニーズを察知、理解するよう努めている。サービス利用については本人の心身の状態や思いに向き合い、信頼関係を築くよう努力している</p> | |
| 24 | <p>初期に築く家族との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p> | <p>事前面談で家族のニーズを把握するよう、話し合いに時間を掛け入所までの様々ないきさつや、悩みを傾聴している。又、ご本人同様家族への支援も忘れず行い、思いを受け止める努力をしている</p> | |

| 項目 | | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (印) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|---------------------------|--|---|-----|--|
| 25 | 初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている | 相談時、本人や家族の話から状況を確認し、改善に向けた支援を提案、必要なサービスにつなげるようにしている(デイサービス、ショートステイ 入所等) | | |
| 26 | 馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している | 本人や家族が事業所を見学して貰うことから始めている。又、事前に面談をし安心して、開始出来るようにしている | | |
| 2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援 | | | | |
| 27 | 本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている | 利用者は人生の先輩であるという考えを職員が共有しており、昔ながらの行事や料理を一緒に行いながら教えて頂く姿勢を持ち、知識や特技を発揮できる機会を多く作っている | | |
| 28 | 本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている | ケアカンファレンスにはご家族にも参加して頂き、同じ視点で意見を交わし情報交換を行っている。又、何か変化があれば連絡を密に取っている | | |
| 29 | 本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している | ご家族参加の行事を多く設け、又、外出レクリエーションも実施しており、より良い関係を継続できるよう支援している。又、年賀状・暑中見舞いを出すことにより関係を継続できるよう配慮している | | |
| 30 | 馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている | 法事やお墓参り、馴染みの美容院等以前の生活同様続けられるよう支援し、利用者の生活習慣を尊重している。又、家族、知人、友人等いつでも気軽に来訪して頂けるような雰囲気作りにも努めている | | 馴染みの店に行く機会をもっと多く作り、以前同様の生活に近づけるよう益々取り組んでいきたい |
| 31 | 利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている | 職員間で話し合い、相性、レベルの程度を見極め、席決めをし楽しく関わられるよう配慮している。利用者同士が円滑な関係になるよう全員で参加できるレクリエーション等を提供し、場面によっては間に入り調整役を努めている | | |

| 項目 | | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (印) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|-----------------------------------|--|--|-----|--|
| 32 | 関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている | ご家族から状況報告のお手紙を頂くことがある | | |
| . その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント | | | | |
| 1. 一人ひとりの把握 | | | | |
| 33 | 思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している | 個別対応を重視し、日々の会話から本人の思い要望を汲み取り、意向に添えるようなケアプランを検討し推進している | | 個別対応を行っているが、一人ひとりの希望をかなえてあげるよう、取り組んで行きたい。又、表現出来ない方にも表情などを汲み取り、楽しい時間を共有して行けるよう取り組んで行きたい |
| 34 | これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている | 利用者向き合う時間を多く取り、本人自身の話や、家族の面会時に少しずつ把握するように努めている。又、家族の許可を頂き友人、知人等の訪問時にも話を伺っている | | |
| 35 | 暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている | 利用者の心身状態を把握し、メリハリのある生活のリズムを保てるよう励行している | | 意思の疎通が困難な方も、声掛け、行動、表情、しぐさからできることを把握し、利用者の心身の変化に伴い皆で検討する機会を多く取って行きたい |
| 2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し | | | | |
| 36 | チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している | ご本人やご家族には日頃から思いや要望、意見を良く伺い反映させるようにしている。又、職員全員で意見交換し、家族を含めたカンファレンスを行っている | | |
| 37 | 現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している | 計画期間終了前には、ケアマネ、職員全員で話し合いを持ち計画の見直しを行い、ご家族にも参加して貰っている。又、変化があった場合も随時見直しを行っている | | |

| 項目 | | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (印) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|-----------------------------|---|--|-----|----------------------------------|
| 38 | 個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている | 個別ケース記録や介護日誌にその日の気付き、特変事項を記入、休み明けには必ず目を通し、情報の共有を行っている。又、ミーティング時には一人ひとりカンファレンスを行い意見交換を行っている | | |
| 3. 多機能性を活かした柔軟な支援 | | | | |
| 39 | 事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている | 個別往診等必要な支援を心掛け対応している。又、通院時やその他の送迎等、個々の要望に応じ柔軟な支援をしている | | |
| 4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働 | | | | |
| 40 | 地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している | 月に一度、介護相談員の方に来て頂き、触れ合いの機会を設けている。又、定期的にボランティアによる演奏会も取り入れている | | |
| 41 | 他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている | ご本人やご家族のご要望に応じて、訪問理美容・訪問歯科を利用して頂いている | | |
| 42 | 地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している | 運営推進会議には、地域包括支援センターの方にも参加して頂き情報の共有を行っている | | |
| 43 | かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している | ご本人ご家族の希望に応じた、往診、受診を行っている。通院時は必要に応じ職員が付き添い支援を行っている | | |

| 項目 | | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (印) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|----|--|---|------|----------------------------------|
| 44 | 認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している | インターネットや口込みで認知症の専門医を選び紹介、利用者が適切な診断治療を行なえるよう支援。又、職員も同行し利用者が少しでも快適に暮らせるよう相談連携を図っている | | 今後もっと気軽に職員が相談出来る専門医との関係を築いていきたい |
| 45 | 看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている | 訪問診療の看護師には、適切なアドバイスを受けている。又、特変事項はセンター常駐ナースの耳に入れ、相談助言を受けている | | |
| 46 | 早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している | 入院先へは細めに足を運び、回復状況について病院関係者や家族と連携を取っている。又、環境が変わることによるレベル低下を防ぐ為、頻繁に顔を出し会話する時間を取るよう努力している | | |
| 47 | 重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している | 終末期の看取りについては、医師、ご家族、ご本人を交え方針を話し合い、結果については、すぐミーティングで職員に報告。統一した対応に向け話し合いを行っている | | |
| 48 | 重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている | ご家族とは早い段階から話し合いを持ち 終末期をより良く送れる様 かかりつけ医、常駐ナースの協力連携の元、支援を行っている。又、急変時のマニュアルを共有 対応についても 職員が統一して取り組める様検討し準備している。 | | |
| 49 | 住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている | 家族、関係者とは十分に話し合い情報交換を行っている | | |

| 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (印) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|--------------------------------|--|---|--|
| . その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 | | | |
| 1. その人らしい暮らしの支援 | | | |
| (1) 一人ひとりの尊重 | | | |
| 50 | <p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p> | <p>ミーティング、日々の業務を通し全員が個人のプライバシーを尊重し、個人の意見を否定せず誇りを傷つけないような声掛け対応を心掛けている。記録については鍵のかかる場所に保管し 守秘義務の徹底を図っている</p> | |
| 51 | <p>利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている</p> | <p>日々の声掛けにおいて、話の中から思いや希望を汲み取り、お茶の時間、出前や外食等のメニューの選択をして頂き、日々の暮らしの中で自己決定出来る場を多く作っている</p> | <p>献立を皆で決め、買出しに行く等自分で食べたい物を選び、満足感を味わえる場を多く取り入れて行きたい</p> |
| 52 | <p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p> | <p>一日の流れは決まっているが、なるべく利用者中心に考え、一人ひとりのペースや意見、希望を尊重、優先するようにしている。又、日頃の希望により外出等も取り入れている</p> | <p>行事、個別に外出は取り入れているが 外出のみならず希望に添ったその人らしい 暮らしを支援して行きたい。</p> |
| (2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援 | | | |
| 53 | <p>身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている</p> | <p>ご本人ご家族の希望があれば、行きつけの美容院まで送迎している。又、行事外出の際はお出掛け着やお化粧の声掛けにより、身だしなみを整える支援を行っている</p> | |
| 54 | <p>食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p> | <p>利用者の個々の力に応じた、食事準備、調理片付けを日課として一緒に取り組んでいる。又、同じテーブルを囲み会話しながら食事することにより、家族的な奮因気を味わえるよう支援している</p> | |
| 55 | <p>本人の嗜好の支援</p> <p>本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのおものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している</p> | <p>ご本人が好みのおやつ等はご家族様からお預かりし 職員が状況をみて危険の無い様提供している。又、一人一人の好みを把握しており お茶の時間、おやつに多く取り入れ楽しめる様支援している。</p> | <p>お茶やおやつ以外の時間以外にも、個々の要望に添った嗜好品の提供を柔軟に取り入れて行きたい</p> |

| 項目 | | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (印) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|-------------------------------|---|---|------|----------------------------------|
| 56 | 気持よい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している | 排泄チェック表により、ご本人の排泄パターンを把握、時間を見てトイレ誘導を行っている | | |
| 57 | 入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している | 曜日を決めているが、要望があれば曜日を問わず入浴して頂いている。入浴の用意を一緒に行い、ゆったりしたペースで入浴をおこなっている | | |
| 58 | 安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している | 一人ひとりの体調、状況に合わせて、昼寝の時間を決めている。又、眠れないと不安のある方にはレクリエーション、散歩、掃除等 日中の活動を提供し、メリハリのある生活を支援している | | |
| (3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援 | | | | |
| 59 | 役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている | 一人ひとりの特技趣味を継続する力を支援、ピアノ、書道等 日課の中に取り入れている。家事を得意とする方には洗濯、調理等個々の力に合わせた役割を担って頂いている。お出掛けの好きな方には買い物、外出も多く企画している | | |
| 60 | お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している | ご家族よりお預かりしているお小遣いで好きな物、食べたい物を購入出来る場を設け、自分で支払いを行うよう支援している | | |
| 61 | 日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している | 散歩を日課とし、季節の移り変わりを感じて頂くように支援している。又、要望に沿って買い物等取り入れている | | |
| 62 | 普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している | 利用者、ご家族に要望を聞き、お買物・おやつツアー・動物公園見学・ドライブ等 ご家族にも参加して頂き、外出行事を多く取り入れている。又、個別でも外出し気分転換を図るようになっている | | |

| 項目 | | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (印) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|----------------|--|--|------|---|
| 63 | 電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている | 毎年、年賀状・暑中見舞いをご本人に書いて頂いている。又、希望があった方には電話や手紙のやり取りができるよう支援している | | ご本人の要望を反映して行きたい |
| 64 | 家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している | いつでも気軽に訪問して頂けるように面会時には気を配り、再訪して頂いている。お茶出し等も職員ではなく利用者様にやって頂き、あたたかい奮因気作りに努めている | | 更に家庭的な雰囲気を出せるように、物理的、人的両面で工夫して行きたい |
| (4)安心と安全を支える支援 | | | | |
| 65 | 身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる | ミーティングや日々の申し送りで声掛けや対応を振り返り、気付かないうちに身体拘束が行われていないか確認、又、上司からも身体拘束については細かな指示を受けている | | 身体拘束だけではなく、言葉による拘束ということも現場において検証して行きたい |
| 66 | 鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる | ユニットの玄関は自由に入出りできるが、建物の構造上、1階への移動時には職員同行である。日中は、徘徊される方がいても鍵ではなく声掛けでとどまって頂いている | | 現況不自由はなくとも、より開放感や安全性を高められるよう検証して行きたい |
| 67 | 利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している | 常に全員が何処で何をしているか、さりげなく 又、プライバシーを尊重しつつ把握している。夜間帯も同様にすぐに対応できる場所に待機している | | 利用者のレベル低下などによる、行動変化にも適切に対応出来るよう日々の気付き、職員間の連携を密にしている |
| 68 | 注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている | しっかりとした安全の確保に基づき、裁縫調理に取り組んで頂いている。保管においても徹底して定物定位で管理している | | 危険を伴う作業をして頂く時は見守りと共に職員間の声掛けを密にしている。 |
| 69 | 事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる | 日々の業務の中で全員がヒヤリハットに気付き、取り組み事故を未然に防ぐ話し合いをミーティング時毎回議題に上げている | | 一人ひとりの利用者様の事故、危険要素の傾向を(予測を含む)職員間で共有して行きたい |

| 項目 | | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (印) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|----------------------------|---|--|------|----------------------------------|
| 70 | 急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている | 緊急時のマニュアルを作成し、全員が対応できるようにしている。また、普通救急講習会にはセンターとして全員が受けられる様取り組んでいる | | |
| 71 | 災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている | 常日頃より避難訓練、避難経路の確認を行っている。又、運営推進会議でも地域の方々と災害対策等の話をしている | | |
| 72 | リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている | 一人ひとりのリスクについては、ミーティング時話し合い未然に防ぐ努力をしている。又、ご家族にも随時説明を行っている | | |
| (5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援 | | | | |
| 73 | 体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている | 一日二回バイタルチェックを行い、体調の変化に早く対応できるようにしている。異変があった時は速やかにかかりつけ医に報告、指示を仰ぎ状況に応じて専門医の受診を行っている | | |
| 74 | 服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている | 服薬ファイル・チェック表を作成、薬表はケース記録にとじ全員が薬効、副作用について理解している。服薬後の症状の変化は詳細に記録に残し、変化を職員全員が把握している | | |
| 75 | 便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる | 毎朝、プルーン、乳酸菌を献立に取り入れ、又、水分量チェックや適度な運動を働きかけ、自然排便を心がけている | | |
| 76 | 口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている | 食前のうがい、毎食後の歯磨きの声掛けを行い、必要に応じ見守り、介助を行っている。就寝前には義歯の洗浄を行っている | | |

| 項目 | | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (印) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|-------------------------|--|---|------|----------------------------------|
| 77 | 栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている | 食事、水分量のチェック表を作成し 一人ひとりの状態を把握 摂取量は一人ひとりに合わせて調整 水分量が特に少ない方には、声かけし、細めに水分を摂って頂いている。 | | |
| 78 | 感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等) | 毎日の手洗い、うがい、手指消毒の徹底で予防に取り組み、万が一感染症が発生した時に備え、対応マニュアルを作成し共有している | | |
| 79 | 食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている | 調理前の手洗い消毒、フキン、調理器具の殺菌消毒乾燥を毎日行っている。又、その日作った物はその日のうちに食べ、残り物はすべて処分している | | |
| 2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり | | | | |
| (1) 居心地のよい環境づくり | | | | |
| 80 | 安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている | 玄関には草花、置物を配置。又、利用者様による毛筆の表札を飾り月毎に各ユニットで、ご利用者様と共に制作した物を掲示し、親しみ易さ、温かさを出すよう工夫している | | |
| 81 | 居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | フロアの飾り付けはご利用者様が小さな頃から慣れ親しんでいる、昔ながらの物を配置。毎月のカレンダーもご利用者様と一緒に作り、常に季節を感じて頂けるよう工夫している | | |
| 82 | 共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている | 玄関前にベンチを置き、気の合った人同士で過ごせるよう工夫。リビングには皆様が座ってくつろげるようソファを配置。又、和室には冬はコタツや座椅子などを置き、昔ながらの雰囲気作りに配慮している | | |

| 項目 | | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (印) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|-------------------------|--|---|-----|----------------------------------|
| 83 | 居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている | 自宅から使用されていた、タンス・椅子・仏壇など持ってきて頂き、慣れ親しんだ雰囲気を再現し又、ご家族の写真を飾り、本人が落ち着いて過せるようご家族様と相談しながら工夫をしている | | |
| 84 | 換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のおよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている | 毎朝の清掃時には、必ず換気をし、冷暖房も外気温と大きな差がないよう、利用者の状況を見ながら温度調節を行っている | | |
| (2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり | | | | |
| 85 | 身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している | 安全確保のため、トイレ、フロア内、浴室に手すり等設置。歩行不安定な方には杖使用を提案し、安全で自立した生活を支援している | | |
| 86 | わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している | ミーティング、カンファレンスを行い、一人ひとりのADLを全職員が把握。できること、できないことを明確にし、残存機能を生かした適切な声掛け、ケアを行うようにしている | | |
| 87 | 建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんで、活動できるように活かしている | 中庭やベランダに草花や野菜を植え、水遣り、草むしり等職員と利用者様で日課として行っている。又、花壇の花をフロアに飾ったり、野菜の収穫、調理を一緒に行い楽しんでいる | | |

| . サービスの成果に関する項目 | | 最も近い選択肢の左欄に をつけてください。 | |
|-----------------|--|-----------------------|--|
| 項 目 | | | |
| 88 | 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる | ほぼ全ての利用者の | |
| | | 利用者の2/3くらいの | |
| | | 利用者の1/3くらいの | |
| | | ほとんど掴んでいない | |
| 89 | 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある | 毎日ある | |
| | | 数日に1回程度ある | |
| | | たまにある | |
| | | ほとんどない | |
| 90 | 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている | ほぼ全ての利用者が | |
| | | 利用者の2/3くらいが | |
| | | 利用者の1/3くらいが | |
| | | ほとんどいない | |
| 91 | 利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている | ほぼ全ての利用者が | |
| | | 利用者の2/3くらいが | |
| | | 利用者の1/3くらいが | |
| | | ほとんどいない | |
| 92 | 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている | ほぼ全ての利用者が | |
| | | 利用者の2/3くらいが | |
| | | 利用者の1/3くらいが | |
| | | ほとんどいない | |
| 93 | 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている | ほぼ全ての利用者が | |
| | | 利用者の2/3くらいが | |
| | | 利用者の1/3くらいが | |
| | | ほとんどいない | |
| 94 | 利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている | ほぼ全ての利用者が | |
| | | 利用者の2/3くらいが | |
| | | 利用者の1/3くらいが | |
| | | ほとんどいない | |
| 95 | 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています | ほぼ全ての家族と | |
| | | 家族の2/3くらいと | |
| | | 家族の1/3くらいと | |
| | | ほとんどできていない | |

| 項 目 | | 最も近い選択肢の左欄に をつけてください。 | |
|-----|---|-----------------------|--|
| 96 | 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている | ほぼ毎日のように | |
| | | 数日に1回程度 | |
| | | たまに | |
| | | ほとんどない | |
| 97 | 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている | 大いに増えている | |
| | | 少しずつ増えている | |
| | | あまり増えていない | |
| | | 全くいない | |
| 98 | 職員は、生き生きと働いている | ほぼ全ての職員が | |
| | | 職員の2/3くらいが | |
| | | 職員の1/3くらいが | |
| | | ほとんどいない | |
| 99 | 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う | ほぼ全ての利用者が | |
| | | 利用者の2/3くらいが | |
| | | 利用者の1/3くらいが | |
| | | ほとんどいない | |
| 100 | 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う | ほぼ全ての家族等が | |
| | | 家族等の2/3くらいが | |
| | | 家族等の1/3くらいが | |
| | | ほとんどできていない | |

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

ニーズやレベルに合わせた 個別対応の実践と業務中心ではなく、利用者中心の生活への取り組みに努め、利用者が主役となれる場面作り、年間を通じての行事、外出の計画と人間らしい暮らしの提供、生きがいの持てる毎日を過ごして頂ける環境作りに取り組んでいます 具体的には初詣、ひな祭り、お花見、盆踊り大会参加、春と秋におはぎ作り、芋煮会、クリスマス会と四季を感じて頂けるよう 実践しています。